

にこにこしんぶん 和和新聞

発行者
NPO法人
ウォール レス ジャパン
Wall Less Japan
福岡市城南区
片江1-8-9-101
電話 (092) 801-1588

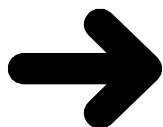
熱中症の症状と対処法

毎日暑い日が続いています。7月～8月は一年で最も熱中症の発生が多い時期です。家の中に居ても室温・湿度が高いと熱中症になることがあります。「節電」と言われていますが、無理せずにクーラーや扇風機を使いながら、夏を乗り切りましょう。

熱中症の症状

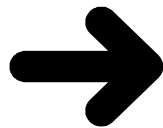
軽度の症状

立ちくらみ、こむら返り、めまい、大量の汗 など



中度の症状

頭痛、吐き気、身体に力が入らない、だるい、集中力・判断力の低下 など



重度の症状

けいれん、意識障害（呼びかけに対し、反応がおかしい、または、反応がない）、運動障害（動けない、まっすぐ歩けない）、高熱が出る など



対処法

涼しい場所へ移動し、安静にする。身体を冷やし、水分・塩分補給する。症状の改善が見られない、水が口から飲めない場合は、医療機関で受診をする。

対処法

ためらわず救急車（119）を呼ぶ。救急車が来るまでに、涼しい場所で安静にして、濡れタオルや氷・保冷剤を使って、身体を冷やす。



【扇風機の発火に注意】

節電対策として、長年使っていなかった扇風機を使用する方も多いと思います。しかし、古い扇風機の発火・発煙・過熱などのトラブルが増えます。古い扇風機を使うときは注意しましょう。

扇風機の注意・確認ポイント

- ・スイッチを入れても、羽根が回らない。
 - ・羽根が回るとき、変な音や振動がする。
 - ・コードが折れ曲がったり、破損している。
 - ・モーター部分が熱い、焦げ臭い。 など
- 異常があった場合には、使用を停止し、メーカーや販売店に連絡するか、適切に廃棄しましょう。



節電熱中症

節電の意識が高まっている中、「節電熱中症」が増えています。節電熱中症とは、夜間、節電でエアコンを使わず、防犯から窓も閉め切った部屋で、寝ている間に熱中症になることをいいます。夜は、電力に余裕があるので、暑いときは、無理せずエアコンを利用して、よく寝ましょう！！節電の心がけも大切ですが、倒れてしまった場合は元も子もありません。

体調を第一に考え、決して無理をしないことが大切です

イベント情報

夜の動植物園

今年も8月の毎週土曜日、18時から21時まで「夜の動植物園」を開催します。入園料は大人400円、高校生200円、中学生以下無料です。夜の動物園の見所は、夜行性動物たちが動き回る様子や昼間は忙しい飼育員と話ができることです。地下鉄桜坂駅2番出口から無料シャトルバスを運行します。シャトルバスご利用の方は入園料が2割引になります。